

【教科名】 算数	【領域・単元名】 A・・・長方形と正方形 (小2) 10 時間 B・・・垂直、平行と四角形 (小4) 13 時間 C・・・四角形と三角形の面積(小5) 11 時間
----------	--

【① 指導内容】

	A	B	C
指導内容	①三角形、四角形の概念と用語 ②辺、頂点の意味 ③直角の概念 ④長方形、正方形の概念、性質、かき方(方眼紙を利用) ⑤直角三角形の概念、性質、かき方(方眼紙を利用)	①直線の垂直、平行の概念とひき方 ②平行線を活用してできる角の大きさの考察 ③台形、平行四辺形、ひし形の概念、性質 ④台形、平行四辺形、ひし形のかき方 ⑤いろいろな四角形の対角線の性質	①平行四辺形の面積の求め方、面積の公式とその適用 ②三角形の面積の求め方、面積の公式とその適用 ③台形やひし形の面積の求め方、面積の公式とその適用 ④三角形の高さと面積の関係

【② 児童生徒の実態】(障がいの状態や特性等に関する姿も含む)

	A	B	C
これまでの各教科等に関する姿	○色板ならば楽しんでしていた。 ○色板の端をきれいにそろえて並べていた。 △直角と鋭角が異なってもできたと言って完成したつもりになることがあり、声かけが必要だった。	○二等辺三角形や正三角形については、繰り返し扱うことで理解が定着した。 ○クイズ形式で選別することで意欲が継続した。 △直線をひくことが難しいことがあったが、すべり止めつきの定規を使うことで、きれいな形をかくことができ、喜んでた。	○対角線の特徴を調べることを熱心にし、いろいろな形で調べていた。 ○三角定規で平行四辺形をかくことがなかなかできなかったが、できるようになるとすいすいとかけるようになった。 △特徴を表にまとめる際や対角線から形を予想することには難しさが見られ、実際にかいてみることで答えを導き出していた。
強み	○はじめてのことでも興味をもって取り組む。	○人とかかわるのが好き。 ○かたち見つけは喜んでする。	○興味のあることには粘り強く取り組む。 ○問題を解決するのが好き。 ○一度理解すると、忘れにくい。
支援が必要なところ	△よく理解していなくても理解しているようにふるまう。	△定規をうまく押さえにくい。 △コンパスの操作が不器用。 △集中が続かない。	△想像して考えるのが苦手。

【③ 個々の単元(題材)のねらい[知・思・学の観点]と手立て】

	A	B	C
ねらい	平面図形に進んで関わり、図形についての感覚を豊かにしながら、三角形、四角形などの構成要素を捉えそれらの意味や性質を理解し、図形を構成する要素に着目して捉える力を養うとともに、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	直線の位置関係や四角形の構成について理解し、図形についての見方や感覚を豊かにするとともに、数学的表現を適切に活用して図形の構成について考える力を養い、図形の性質を考察した過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	四角形や三角形の面積の求め方を理解し、図形の構成要素に着目して面積の求め方を考える力を養うとともに、四角形や三角形の面積の求め方を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
手立て	○積み木から色板にする。 ○飾りを何個も作ることで、繰り返し練習ができるようにする。(理解面)	○飾りを何個も作ることで、繰り返し練習ができるようにする。(意欲面) ○滑り止めのついた定規を使う。 ○コンパスの補助具を使う。	○どんな飾りがいいか考えることで意欲を高める。 ○直角カードを使うことで、高さが見つけやすくなるようにする。

【④ 主な活動内容】

特支 CS 知的の場合のみ、①～③を踏まえて
活動内容を考え、この欄に記入しましょう。



(小 CS なので、この欄は記入しない)

【⑤ 単元(題材)計画】

子どもたちの姿を具体的に思い浮かべながら授業を考えましょう。

集団での学び合いの場面を設定すると、それぞれの学年の内容を学習しながらも、両学年共通の話し合い場面が多くなり、学級としての一体感が生まれやすいと いったよさがあります。

【⑥ 本時】

単元(題材)名(いろいろな形について知ろう)

	主な学習活動 学習の中で押さえること ★手立て(障がいの状態や特性等に対する手立ても含む)			記録 次回への改善点
	A	B	C	
導入	 テーマ お店屋さんの飾りをきれいに作るために、きれいな形がかけようになろう！ どんな形がいいか考えよう！			 同単元異内容で学習をすることもあります。
	今日のねらい どんな三角や四角があるか 見つけよう	2本の直線の交わり方を調べて かいてみよう	平行四辺形の面積は どうやったらわかるかな？	
展開	パズル遊び			お互いの学習に影響を受けながら自らの学びを 広げ、深めていくことができます。  同じ角がある四角でも 名前が違ったはず・・・ どうしてだったかなあ・・・
	・平面図形に親しむ。 ★始めは積み木を使い、平面図形に移行する。 ・辺や頂点の数に着目してパズルの ピースを仲間分けする。  三角や四角で似ていても角が丸いのとそうじゃないのでは違うよ  パズルのピースと同じ形があるよ。角もおんなじ形だ！	・いろいろな図形に触れ、図形についての復習をする。 形、直角、辺、頂点 など   ・4本の線が交わってできる四角形に着目し、2本の直線の交わり方を調べる。	・いろいろな図形に触れ、図形についての復習をする。 形、直角、辺、頂点、垂直、平行 など ・どんな飾りができそうかイメージを膨らませる。  教師が主にどこについているのかを示しています。	

展 開	三角形、四角形の意味や性質について考える。 ・三角形、四角形の意味や性質を<u>理解する</u>。 ・「へん」「ちょう点」を知る。 Bさんみたいに四角形や三角形もかいてみよう ・ドットの用紙に<u>辺をかきたして三角形や四角形をかく</u>。 ぼくのかいた垂直を使ってもかけるかな やってみたい!	直角から「垂直」について知る。 ・ドットの用紙に 4 本の直線をひいて四角形をかく。 ★すべり止めのついた定規を使う。 ・「垂直」の意味を知る。 平行四辺形の中に知っている形が隠れてないかな ・<u>垂直な直線をひく</u>。 ★すべり止めのついた三角定規を使う。 四角形や三角形がかくれていそうだなあ	飾りに平行四辺形を使うとしたらどのくらいの大きさがいいか考えるために面積を求めよう。 ・既習の図形の面積の求め方を確認する。 ・<u>平行四辺形の面積の求め方を考える</u>。 ★方眼の線が入った図形を何枚も用意し、線をかき込んだり切ったりして考えられるようにする。 ・<u>長方形に等積変形する平行四辺形の面積の求め方をまとめる</u>。	友達の学習を意識しながら、自らの学びを進めています。 切ってもいいの?…パズルみたいにしたらどうかな?
ま と め	自分のねらいの振り返り 次時の見通しをもつ ○次は角の形を調べてみよう。	○次は交わらない線について調べてみよう。	○平行四辺形の面積の公式を考えて、面積を求めよう。	

